

令和3年3月1日

土間床等の外周部の線熱貫流率の計算方法の次期バージョン (Ver.3.0.0) における更新予定の内容

土間床等の外周部の線熱貫流率の計算方法の次期バージョン (Ver.3.0.0) のβ版プログラムを公開します。現行からの変更点は、次の通りです。

●β4→β5 (令和3年3月1日) ●

1. 基礎を構成する材料を選択できるようにしました。
2. ユーザ定義パレットにおいて入力値が正しくない場合エラーを表示するようにしました。
3. ユーザ定義パレットのデザインを調整しました。

● $\beta 3 \rightarrow \beta 4$ (令和 2 年 12 月 24 日) ●

4. レイアウト及び UI の調整を行いました。

● $\beta 2 \rightarrow \beta 3$ (令和 2 年 9 月 29 日) ●

5. セル幅の入力寸法について、小数点以下の桁も入力できるように修正しました。
6. パレットに表示される材料条件のリストを更新しました。
7. ユーザー定義パレットを作成する画面において、入力する熱伝導率に関する説明を追加しました。

● $\beta 1 \rightarrow \beta 2$ (令和 2 年 7 月 10 日) ●

8. 計算結果を PDF で出力する機能を追加しました。
9. プログラムの使用許諾画面を追加しました。
10. 仮想ブロック (熱流が 0 とみなす仮想材料) の定義パレットを追加しました。
11. 「壁心」の名称を「基礎の心」へ変更しました。
12. メッシュ分割が小さくなる場合に起こる計算の不具合を修正しました。
13. 均等幅ビューの不具合を修正しました。

以 上

● β 1 (令和 2 年 4 月 24 日) ●

14. 土間床等の外周部の線熱貫流率の計算方法を公開しました。二次元定常計算で土間床等の外周部の線熱貫流率が計算できる Web アプリを新たに作成しました。複雑な基礎形状や地下室のある基礎等も計算できるようになりました。詳しくは、「基礎断熱時の基礎および土間床等の外周部の熱損失の評価について」をご覧ください。本 Web アプリの使い方については、「土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラムの使い方について」を参照してください。

「基礎断熱時の基礎および土間床等の外周部の熱損失の評価について」

https://house.lowenergy.jp/documents/3-3_Manual_Heat_Transfer_via_Ground_200424_verβ_Pver0300.pdf

「土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラム Ver.3.0.0 β 」

https://house.lowenergy.jp/new_beta.html

「土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラムの使い方について」

https://house.lowenergy.jp/documents/3-3_Reference_Information_on_Heat_Transfer_via_Ground_200424_verβ_Pver0300.pdf

以上